

耐熱性細菌

- 耐熱性細菌とは
 - 63°C30分間、バルク乳を加熱した後に、培養して検出された菌
 - 低温殺菌でも生存可能な菌－難治性乳房炎の原因
 - バチルス:芽胞を有していて強い菌
 - シュードモナス:水周りの衛生状態と関係
- 点検箇所
 - 洗浄温度が重要(開始80°C、排泄時40°C)
 - 洗剤の点検、ライナーなどのゴム製品、各種チューブ類の交換
 - パイプラインの歪み
 - 洗浄水が残ってしまう

生菌数

- 生菌数とは
 - バルク乳1ml当たりの細菌数で、乳房炎原因菌、環境菌、搾乳機器の汚染菌の全てが含まれる
 - 搾乳衛生の指標となる

生菌数が非常に多く、
搾乳衛生に問題が
ある



生菌数が少なく、
非常にきれいなバルク乳



黄色ブドウ球菌－伝染性乳房炎菌

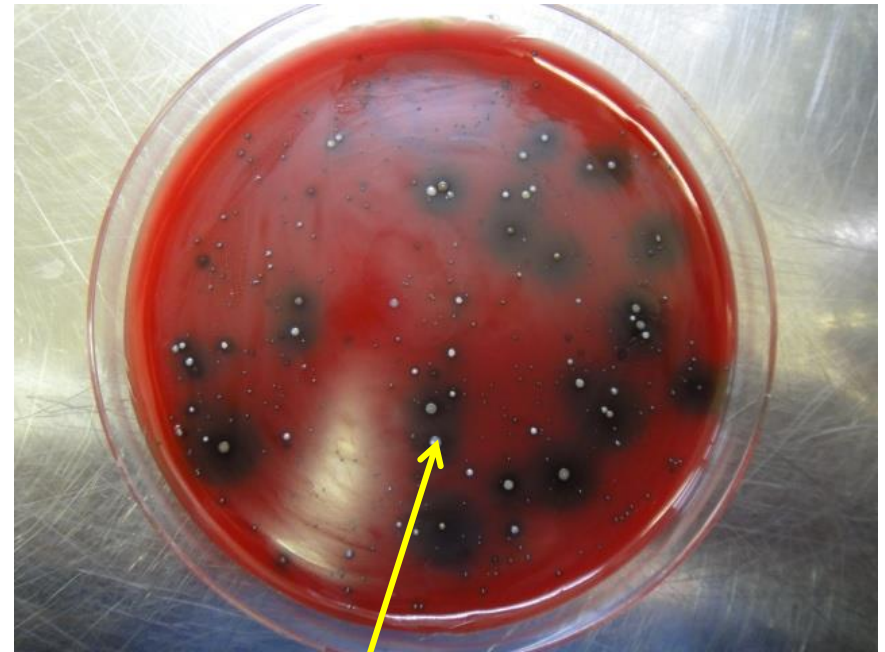
- 黄色ブドウ球菌
 - 搾乳時に乳房から乳房へと感染し、潜在性乳房炎としてバルク乳の体細胞数を増加させる
- バルク乳目標値：ゼロ



(X-SA培地)

レンサ球菌

- 無乳レンサ球菌
 - 伝染性乳房炎菌で、潜在性乳房炎を発症
 - 目標値はゼロ
- 環境性レンサ球菌
 - 多くの菌が含まれ、急性や難治性の慢性乳房炎の原因となる
 - 難治性原因菌には、*S.ウベリス*やエンテロコッカス属などが含まれる
 - これらの菌は、エスクリン陽性レンサ球菌 (E-Strep) と呼ばれている
- 目標値: 400cfu/ml以下

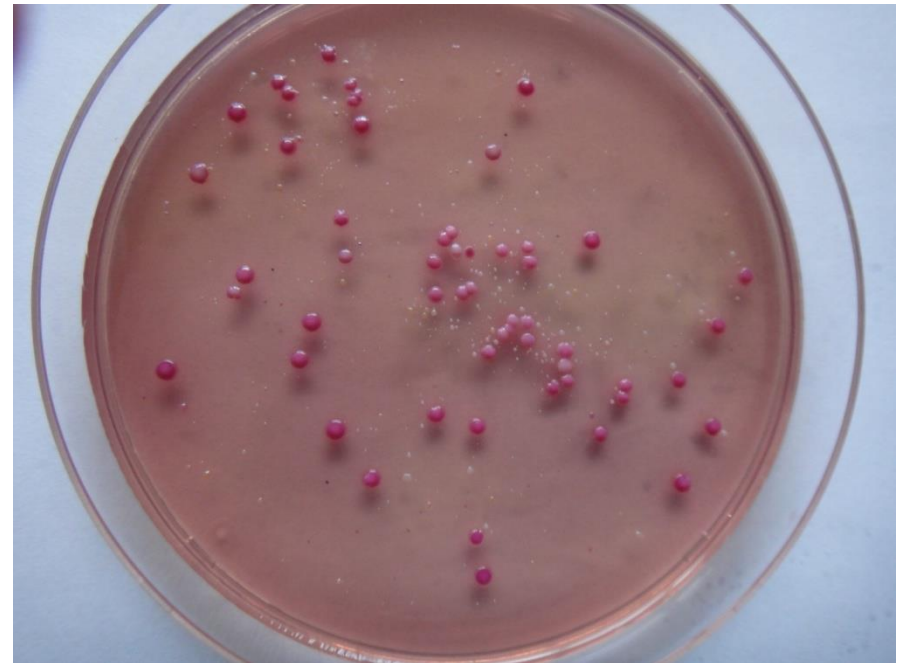


E-Strepはエスクリンを加水分解させコロニー周囲が黒色化させる

大腸菌群

- 大腸菌群とは
 - 大腸菌、クレブシエラ、セラチア、などが含まれる
- 乳頭衛生が不十分な場合に増加する
- 牛床衛生も重要である
- 目標値：10cfu/ml以下

✓ 敷料の細菌数モニタリングを行うことが重要である



(マッコンキー培地)